

南信州広域連合第9回広域連合会議 結果報告

日時：平成26年12月12日(月)15:20~16:00

場所：長野県飯田合同庁舎講堂

1 開 会…15:20

【出席者】14市町村長（下條村副村長）

〔下伊那地方事務所〕有賀所長・松田副所長・石田リニア推進幹・丹羽地域政策課長

〔飯田保健福祉事務所〕北澤副所長

〔飯田建設事務所〕山岸所長

〔飯田市〕清水市民課長・板倉企画課主事

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕桂消防長・関島消防次長

〔飯田環境センター〕米山事務長

【事務局】渡邊事務局長・吉川事務局次長・塚平事務局次長補佐兼企画調整担当専門主査・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・片桐庶務係主事

2 広域連合長及び荏原環境プラント株式会社社長の挨拶

…連合長

下久堅地区に設置する次期ごみ処理施設の建設・運営を担っていただく荏原環境プラントの市原社長以下、会社の皆様方にお越しいただいた。現桐林クリーンセンターの建設・運営にも携わっていただいております。引き続きお願いすることになった。地域の状況についても、十分にご理解いただいていると思う。蓄積されたノウハウを活かし、安心・安全を第一に、より効率的な運営をお願いしたい。地元、あるいは周辺地区住民の不安に対し、事業主体である広域連合はもちろん、建設・運業者にあっても信頼関係の構築を望む。最初にボタンの掛け違いをしないよう配慮をお願いしたい。住民からの要望により、覚書等結んでいただくこともあるかと思う。

…荏原環境プラント株式会社 市原社長

本事業は、建設・運営併せて23年間、総事業費が100億円を超える大事業であり、当社にとっても一大プロジェクトとなる。万全な社内体制を構築した上で、総力を挙げ取り組む。建設に向けての本格的な作業がスタートした。広域連合とのコミュニケーションを密にし、安心・安全な施設、公共の福祉に資する施設を作り上げる。地域住民等と良好な関係を築き、地域社会の一翼を担う企業市民として、地域の一員となって取り組んでいく。

3 協議・報告事項

(1) 飯田下伊那における戸籍システム機器の共同利用について（資料1）

…資料による説明（飯田市市民協働環境部 清水市民課長）

7月16日の連合会議において概要説明をした。その後、意向確認の状況がまとまったため、報告をさせていただく。

結果的に全14市町村での共同利用を実施することとなった。第1次が平成27年11月稼働で、飯田市・高森町・根羽村・下條村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村の8市町村。第2次が平成29年11月稼働で、松川町・阿南町・阿智村・平谷村・売木村・天龍村の6町村。

実施方式については、地方自治法第252条の14第1項を根拠に、事務委託に係る規約を定め、定住自立圏形成協定の変更により行う。

委託事務の範囲としては、受託市に設置する戸籍正サーバ・副サーバ・アプリケーションサーバ及び住基連携サーバ並びに関連施設の管理・運営事務が主なもの。受託市の役割はサーバの管理・運営

事務以下記載のとおり。委託町村の役割は、協議により定めた経費の一部負担、事故発生時の受託市及び関係機関への連絡調整。

第二バックアップサーバを株式会社電算のデータセンター（長野市）に設置し、管理を同センターの管理運営会社に業務委託する。

今後の予定として、平成27年3月の各市町村定例議会において、定住自立圏協定書の変更・事務委託等の議案を提出していただき、審議をお願いしたい。4月に調印、11月に第1次共同利用の稼働予定。

【質疑なし】

(2) 基本構想・基本計画の策定について（資料2）

…資料による説明（渡邊事務局長）

前段の部会において協議・意見をいただいた。それらを反映・修正した後、パブリックコメントを実施する。資料2-3を参照。期間は12月16日（火）～1月9日（金）。各市町村窓口にも資料を置き、意見が寄せられた場合は受けていただきたい。その意見も集約し、1月の連合会議において最終案の審議を賜りたい。

資料2-2は、先般の策定委員会において有識者と懇談した際に、いただいた意見をまとめたもの。参考にご覧いただきたい。

【質疑なし】

(3) 平成27年度事業計画立案（予算編成）について（資料3）

…資料による説明（渡邊事務局長）

前段の部会において、27年度に新規で行いたい事業について審議をしていただいた。広域連合は負担金で成り立っているため、市町村の財政状況を鑑み、無駄を廃した事務事業の運営に努める。ただし、基本構想・基本計画の初年度でもあるため、選択と集中により進めたい。一般会計については、今年度より増えることはない。年末の正副連合長会議、1月連合会議で予算（案）として審議を賜りたい。

【質疑なし】

(4) 南信州キャンペーン in 銀座の報告（資料4）

…資料による説明（秦野事務局次長補佐兼広域振興係長）

銀座NAGANOで12月1日～5日に開催した「南信州キャンペーン in 銀座」の報告。多くの方にお越しいただき、首都圏における当地域の情報発信ができた。「南信州酒場」では、12月2日に連合長にご出席いただき、観光を中心に活躍されている若手の官僚や企業人と懇談。12月1日は下條村副村長にご出席いただき、首都圏のマスコミ関係者と懇談。マスターを務めた峰竜太さんは、1～3日、5日に来店し、南信州を積極的に売り込んでいただいた。12月5日「伝統野菜を学ぶ会」には売木村長が出席し、駒屋ネギの由来などをお話いただいた。12月3日の下伊那農業高校「高校生アグリレストラン」には、多くの参加者とマスコミ取材があり、NHKやSBCラジオで紹介されたほか、NHKが15日11時40分から、SBCでも日程は未定だが紹介される。

開催に当たり、14市町村からは、参加者へのお土産の提供ほか様々なご協力をいただいた。今後も当地域が一丸となって知名度の向上に取り組んでいきたい。

【質疑なし】

(5) 飯田市 事業構想大学院大学シンポジウムについて

…牧野広域連合長（飯田市長）

事業構想大学院大学学長の清成先生が来飯され、基調講演及びパネルディスカッションを行う。主催は飯田市と事業構想大学院大学。飯田市における「大学院大学の可能性調査」の一環として開催する。12月20日（土）南信州・飯田産業センター大ホールにて開催。是非ご出席をお願いしたい。

【質疑なし】

4 長野県飯田建設事務所から

…資料による説明（山岸建設事務所長）

リニア関連道路整備等に関する説明会を12月9日に飯田産業センターで開催した。本日は座光寺「麻績の館」で開催する。資料A3版に示したものが、今現在考えている「国道153号 飯田北改良」と「座光寺スマートインターチェンジ（以下 SIC）から長野県駅へのアクセス道路」のルート案。それぞれ3ルート帯を示した。1月9日まで住民の方から意見を募集する。出された意見を踏まえ、もう一度説明会を実施する。今年度末までには、それぞれ1案に絞り込む予定。

「国道153号 飯田北改良」について。上郷地域の慢性的な渋滞の緩和、十分な幅員や歩道の確保による安全性の向上を目指す。将来的な交通量の推計は2万台近く。アップルロードと同じ4車線とし、幅員は26mを予定。

A3資料の赤帯。Ⅰ案は現道拡幅。Ⅲ案は平成17年頃計画し、最終的に地域の合意が得られなかったもの。Ⅱ案はその中間となっている。保育園・公共施設・神社仏閣は避けて選定したい。起点は高屋の信号機、終点は上飯田線。「そこから先は」という話になるが、SICからのアクセス道路等も含めれば、将来の交通量の配分がなされると考えている。

「座光寺 SIC から長野県駅へのアクセス道路」について。A3資料の青帯。高速道路と直結させる形で考えた。高低差が約170mある。直線で結ぶと2km弱だが、勾配が10%近くになってしまう所もあるため蛇行した形になった。設計速度40kmの設定理由については、速度50kmの場合、更に距離が必要になってしまい、最長のC案（約3.2km）を時速40kmで走行する時間と、4kmを時速50kmで走行する時間が変わらず、経済的メリットが無い。

A案は土曾川沿、B案は西ノ沢沿、C案は高森町境の南大島川沿を下り、高台になる座光寺小付近をトンネルにする。いずれもJRとは立体交差する。ただし、B案・C案は県指定の遺跡「南本城跡」を避けられないため、A案がやりやすいとの説明をした。

【質疑・意見】

・各案の費用の概算は。

→確かな状況ではないが、それぞれ100億円程度を見込んでいる。アクセス道路C案については、900m程のトンネルに30億以上が必要。153号改良については事業費の差はさほど無い。

・上飯田線以北について、恒川遺跡がある以上は整備できないという見解か。

→原則はできないと考えている。現道の通行量が約16,000台。SICへのアクセス道路ができれば、フルーツラインにも接続するため、交通量が配分され、現況と変わらないという調査結果が出ている。将来的に交通量が伸びてくるとすれば、下の農免を整備し、遺跡を避けたルートとしたい。

・使い勝手が悪くならないよう、将来的な構想を持った上でルートを計画していただきたい。

・フルーツラインは一部町村道になっている部分がある。将来的に、飯島飯田線とフルーツラインの交換について、どのような考えを持っているか。

→以前は難しい部分もあったが、現在は県と市町村で管理を交換している所や、一部県道に置き換えている所もある。市町村で管理するには交通量が多く、補償や修繕費が掛かる場合もあるため、幹線であれば県が管理を行っていくことも考えられる。飯島飯田線は土曾川大橋まで持っている。県としても、その先を一本にしたいという気持ちもある。

5 今後の日程

1月16日（金）広域連合会議 飯田合同庁舎講堂

6 閉会…16:00